

特別支援学級在籍児童に関する調書(記載例)

※お持ちの場合は身障手帳・療育手帳・診断書のコピーを添付して下さい。

児童名	恵庭 太郎 1年 2組
障がい等の内容	広汎性発達障害
診断を受けた時期	3 歳頃

身障・療育手帳の状況

手帳の有無	☒ 有 ☐ 無
☐ 身障	種 級 ☒ 療育 A判定 ・ B判定

関係のあった施設・病院等

施設・病院等名	現在も利用している機関については、利用状況を詳しく記入願います。
子ども発達支援センター	3歳から通っており、現在は毎週火曜日15:30~通っています。
●●△病院	半年に1回通院しています。

障がい等の特性

他の人と視線を合わせることが難しく、言葉の遅れもあります。

片付けが苦手ですが、カードなどで片付けなどの手順を示すと少し理解ができるようです。

日常生活の状況

食事	☒ 一人で出来る ☐ なんとか出来る ☐ お手伝いが必要(具体的に:)
排泄	☒ 一人で出来る ☐ なんとか出来る ☐ お手伝いが必要(具体的に:)
着脱	☐ 一人で出来る ☒ なんとか出来る ☐ お手伝いが必要(具体的に:)
ことばでの指示の理解	☐ わかる ☐ 大体わかる ☒ くりかえし指導が必要

家庭での様子(大体の時間を記入して下さい。)

学校へ行く日の日課(新1年生の場合は幼稚園等へ行く日の日課)

起床時間	朝食時間	登校時間	帰宅時間	夕食時間	就寝時間
6:30	7:00	7:45	15:00	18:30	20:30

休日の日課

起床時間	朝食時間			夕食時間	就寝時間
7:00	7:30			18:30	20:30

家で過ごす時はどんな事をしていますか。

ブロック遊びをしたり、絵本が大好きで絵本を読んでいます。

【裏面へ続く】

①コミュニケーションの取り方について（できればこんなときは、こうして欲しいという具体的な例を挙げてください。）

1. お子さんからの表現について

発語状態 発語なし 1～2語文程度なら話すことが出来る

会話が可能

・要求はどのような風にしますか？

言葉にして何がしたいなど言うことができますが、要求が通らないと泣くことも多いです。

・拒否はどのような風にしますか？

うまく言葉を出せないときもあり、その時は泣いて感情を表します。

・その他の特徴

一度覚えたルールはきちんと守りますが、それ以外のパターンが受け入れづらいときがあります。

2. 大人からの指示について

・お子様とのコミュニケーションはどのように行っていますか？（ジェスチャー、カード、実物を見せる、言葉等で等）

言葉でコミュニケーションをとっています。

・お子様にしてほしいこと、してはいけないことがある場合、どのように伝えていますか？

「～しましょう」「～しません」というようになるべく短い言葉で伝えています。

・その他

出来たことや成功したことなどはその場ですぐ褒めるように心掛けています。

②飲食について

・好き嫌い

ある（具体的に： **ピーマン** ） ・ない

・食べ方の特徴や癖（時間をかけて食べる、途中で飽きてしまう等）

途中で他に注意が行ってしまうことがあります。

・その他

好きなものと嫌いなものを交互に食べさせるなど工夫しています。

③避けて欲しいこと

・嫌いな遊びや苦手なこと

一度に多くのことを言われることが苦手です。

④こだわりや癖（こういう状態のとき→こういうことをします→こういう対応をしてください。）

予定がわからないと落ち着かないことがあるので、学童クラブの一日の流れを事前に子どもに教えて欲しいです。

⑤パニックへの対応

・パニックを起こしたことがあれば、その状況や対応を記入して下さい。

④番と同じく先がわからないことに不安を覚えることがあり、急に予定が変わると泣いてしまうことがあります。その時は別室に連れていき落ち着かせています。